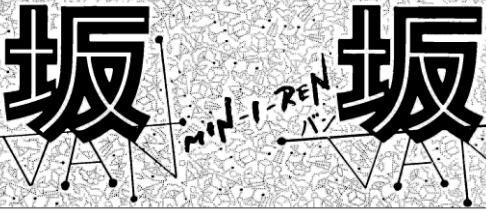


坂総合病院医学生だより



〈発行〉

坂総合病院  
医学生と共に歩む委員会

連絡先・塩釜市錦町16-5

☎022-367-9007  
2013年7月1日

No. 63

新たな出会い、

新たな仲間とともに



いつでもどこでも誰もが安心して良い  
私たちはいのちのちの平等をめが  
2013年度全日本医師会新人医

# 自分・社会をみつめ、新たな一歩を踏み出そう



リハビリ科科長 藤原 大

医学生の皆さん、新年度を迎え、新しい環境の中で忙しい学生生活を送られていることと思います。我が坂総合病院の医局も、新たに10名の新人初期研修医を迎え、賑やかな雰囲気の中で新年度をスタートしています。実習や見学で病院を訪れる医学生の皆さんの姿も見受けられますね。何とも心強いですっ！

さて、皆さんのこの1年の目標はなんでしょう？いきなりそんなことを聞かれても、困り

ますかね？東医体で優勝するぞ！とか、バイトでお金貯めるぞ！とか、試験は本試験で通るぞ！とか、きっと様々ですよ。もしかして、何となく日々を過ごす方もいたりして？かく言う私は、医師として12年目を迎えました。10年目頃までは、個人の研鑽を積むことに日々終始してきました。最近では、チーム運営のために頭を悩ませたり、後輩や病院スタッフの指導に苦労したり、会議や学会・講演活動に汗を流

す日々です。今まででは問われることのなかった能力や気概を求められている気がします。経験年数を経ることで、周囲から求められるものは変わりますし、自身の新たな成長が必須です。この時期は、そんな自分を振り返り、新たな一歩を踏み出す大切な時期です。私自身、改めて目標を再考していきたいと思います。日々を楽しく、充実した時間にしていきましょう！

一方で、昨今の社会情勢の変動も大きなものです。憲法の改定をめぐる論争、周辺国との外交問題、TPP 参加交渉への動き、消費税増税、震災からの復旧、そして原発などなど。日本の将来を決定づけるだろう大きな問題が横たわっています。これらの情勢にどのように目を向けて、私たち国民ひとりひとりがどんな「選択」をするのか、が問われている時代だと思います。一見、医学・医療と繋がりのない分野のように思えます。しかし、人の命と健康を守る立場の医療者としても、一人の人間・国民としても、

避けては通れない問題です。私たちは、医学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

うちの末息子が、最近になってハリーポッターにはまっています。今更ですが(笑)。その中で印象的なセリフがあります。「ハリーポッターと秘密の部屋」の中で、hogwarts魔法学校のダンブルドア校長がハリーに向けて言ったこと「自分が何者かは能力では決まるものではない。どんな選択をするかじゃ」。医師を目指して大学医学部に入った皆さんは、間違いなく類まれな「能力」を持っています。その皆さんが、どんな人間として、どんな医療人としてあり続けるかは、まさに「選択」にかかっていると思います。自分を見つめ、社会を見つめ、意味のある「選択」をして日々成長していかれることを、切に願っています。皆さんとお会いできる日を楽しみにしていますっ！

# 学生生活のススメ

研修医 川原 翔太  
(弘前大学出身)



こんにちは！2013年春に弘前大学を卒業して坂総合病院で研修をさせてもらっています川原です。

今回『学生生活についてのアドバイスだとかを紹介してほしい』と言われたので僕の学生生活をオススメな生活を中心に振り返ってみたいと思います。思い返してみると、特に何かを残した！という事をしていないので期待はせずに、既卒者の戯れだな・・・という気持ちでお読みください。

## 他学部と仲良くなるチャンス！！

1年生で大学に入学すると、きっと誰もが経験したであろう勧誘の嵐が最初に待ち受けていま

した。なぜか中学・高校の時に所属していた部活の情報が回っていて(情報の売買があるのか！？笑)入学式の会場から出た途端に、色々な方向から名前が聞こえてきていたのを覚えています。そうでない大学もあると思いますが、1年生の頃は医学部特有の講義ではなく一般教養の講義も受講できます。ということは・・・  
そう  
す！

1年生の頃は、他学部の人と知り合



いになれるチャンスです！医学部はその性質から、往々にしてキャンパスが一般学部と別になっていて、専門の講義が始まると他学部の人と知り合いになれるチャンスは激減します。医学部は閉鎖的な空間なのでその中にいると見えてこない物の見え方や考え方がたくさんあります。なので、僕はこの時期を利用して色々な学部の人と知り合いになりました。この記事を読んでいる低学年の方がいれば、ぜひぜひ学食や講義室などで知り合いを増やしましょう！

## 専門教育＝悪夢

弘前大学では2年生から専門教育が始まります＝悪夢が始まります。簡単に言うと、（もちろんテスト期間だけですが笑）2年生～4年生はテストとの戦いでした。僕は色々なテストで6割をきる事が多かったのですが、おそらく学年で一番テストは受け、一番留年のラインに追われていました。ただし、何も勉強しなかった訳ではありません。あまりオススメできる事ではないですが、『医師になってからも医学は勉強できるのだから、というよりも勉強しなければいけない（医師法中の医師の義務にもあります）のだから、学生の間は医学以外の勉強をしよう！』

と考えてどちらかと言うと文系の分野の勉強をしていました。まだ、医師になって2週間も経ちませんが、やはりあの時期は大事な時期だったと思います。実習に入る前なら、バランスがとれる範囲でぜひ色々な学問の勉強をすることをオススメします。

5、6年生ではいよいよ実習が始まります。4年生までの授業で惹かれていた科での実習はもちろん楽しいです。しかし実習になると、他の科でも座学だけじゃ分からなかった科の楽しみや、やりがいを先生方はアツク語ってくれます。それを聞き出すポイントは、とにかく担当になった先生にくっついて行くこと！そして疑問に思った事を、アホみたいな質問でもいいので聞いてみ

ること！だと思います。



# かけがえのない奨学生生活

研修医 川瀬 隆一  
(山形大学出身)



みなさん、こんにちは。山形大学を卒業し、4月から坂総合病院の初期研修医になった川瀬隆一というものです。私は山形民医連の奨学生なのですが、山形には民医連の臨床研修病院がないため、坂総合病院にお世話になることとなりました。将来的には山形に戻る予定なのですが、坂総合病院にて地域医療やプライマリーケアについて修練し、塩釜周辺の医療活動に少しでも貢献できるよう努めていきたいと思っています。

## 恵まれた学生生活

唐突ですが、私の学生生活についてお話ししたいと思います。

部活は剣道部に所属し、稽古を通して心身を鍛えました。先輩や後輩との稽古はしんどい時もありましたが、遠征などで様々なところに行き遠征先で遊んだり、花見や芋煮会といったイベントをしたことは本当に楽しかったです。

様々なアルバイトも経験しました。芸大の子や美容師の専門学校に通う子など他の道に進んだ人と今でも仲良くしています。接客業のバイトはコミュニケーション能力を鍛える上でいい



経験になったと思っています。

勉学では勉強会メンバーと苦楽を共にしま

した。2ヶ月間ある卒業試験や3日間の国家試験は身体的にも精神的にも辛いものでしたが、みんなで乗り切ってきました。

また民医連の奨学生活動を通じて様々なことを学び、大学の垣根を越えての仲間づくりをすることが出来ました。震災現場への支援活動、沖縄での平和学習、ハンセン病学習会など奨学

生活は掛替えのないものを与えてくれたと思っています。私の学生生活は仲間や先輩・後輩に本当に恵まれた学生生活だったと思っています。

最後にですが、周りの仲間や家族を大切にしてください。私はここまでくるのにいっぱい助



けられました。今はそういうことを実感しづらいかもかもしれませんが、そういった人たち

への感謝を忘れず、学生生活を充分満喫してください。

坂総合病院でお会いできることを楽しみにしています。

## 北海道・東北地協

# 医学生合同合宿2013in沖縄

“日米安全保障条約”が住民になにをもたらしたのか。沖縄の歴史を学び、そこから見えてくるものは何なのか？我々の平和な未来を築く上で何をすべきなのか…

3/7～3/10の4日間で行われた北海道・東北地域合同の医学生合宿に39名が参加しました。戦時中に防空壕として使用されたアブチラガマをはじめとした、沖縄本島南部の戦跡や資料館、米軍嘉手納基地などをフィールドとして沖縄の過去・現在について学び、毎夜SGDと交流会を重ねて考えを深め、戦争とは何か、そしてこれからの自分になにができるかを考えました。元宜野湾市長・伊波洋一さんの講演では、「もし普天間基地があなたの近くにあったら」というテーマで、沖縄に基地があることによる生活に

直結した被害・日米安保における日米両政府の



隠ぺい体質・米による中国対抗策としてのエアシーバトル構想など、様々な観点から沖縄

の過去と現在についてお話して頂きました。その中でも、①日本を守るために安保条約がある訳ではなく、アメリカの戦争のために基地を利用する、②まず日本国内、さらにアメリカ一辺倒からアジアへ目を向けるという点を強調していました。



以下は参加した学生の感想です。「(基地やオスプレイの問題に)賛成できる人は、大局のみを考えていて、そこに住む人や関わる人の実態を理解していないのではないかと感じました。

だから具体的な個々の生活をイメージすることが大切だと思います。」「合宿を終えて、沖縄についてもっと知りたいと思いました。自分一人では何も変えられないと思うので、いつかは日本の関心・注目を沖縄に集めるような事に貢献できるような活動をしていきたいです。」参加学生は、それぞれの地で基地や戦争について考え、活動してくれることでしょう。

あなたも民医連の奨学生になって、合宿に参加しませんか！

## 災害拠点病院として地域のために・・・



災害対策委員会事務局 近藤 恵子

当院では、東日本大震災のような大きな災害を想定し、震災以前より多数傷病者受入訓練を実施してきました。訓練は、災害対策本部の立ち上げや、トリアージの実施と初期治療を中心とした初動訓練を行ってきました。そのため、東日本大震災においても直後から本部・トリアージエリアを立ち上げ、比較的スムーズに医療活動を開始できたと思われま。一方で、患者受入れ後の対応はこれまで訓練対象としていなかったこともあり多くの課題を残しました。



### 災害時の医療現場は異質

7回目を迎えた今年の訓練は、東日本大震災のような平日日中の大地震発生、大津波警報発

令を想定し、震災の教訓から、「災害対策組織機構(指揮命令系統)の理解および検証」を主な目的としました。災害時の医療活動は平時とは異質のものであり、それを統括する災害対策本部も平時の病院管理部とは異なる役割が求められます。災害対応の最優先項目として**Command&Control**(指揮・統制)が言われますが、当院でも災害医療に特化した指揮命令系統を確立することが大きな課題です。訓練の企画・運営を担う災害対策委員会では、この災害対策組織機構の見直しを進め、組織機構案を作成し、その理解および検証を目的とした訓練を企画しました。

### アクションカードで役割を認識

訓練参加者には事前に組織機構案に則って役割を割り振り、各自の役割を認識・イメージしてもらうよう組織機構案とアクションカードを配布しました。アクションカードとはその役職の任務・行動・活動場所・報告義務について明記された覚書のようなものです。また、全職員を対象とした事前学習会を開催し、訓練の目的や配布した組織機構案・アクションカードにつ

いての説明等を行いました。訓練当日は、およそ150人の職員の参加と塩釜救急隊のご協力により開催することができました。

現在は参加者からのアンケートをもとに、組織機構およびマニュアル・アクションカードの改定に活かせる意見や訓練運営に関する課題の抽出・整理を行っているところです。運営側としての力不足や至らなかった点は多々ありますが、今後も災害拠点病院として災害発生時には地域の中心として機能を果たせるよう整備していきたいと考えています。



## 生々しい演技とメイクで圧倒

ところで、毎年訓練を盛り上げてくれる人たちがいます。それは、模擬患者役の新入職員と友の会会員のみなさんです。4月に入职したばかりの職員に、入职早々に訓練の模擬患者役をお願いしています。設定患者のシナリオをもとに、症状に見合ったメイク（ムラージュ）と演技指導を行っています。本番は、真剣かつ生々しい演技とメイクで訓練参加者も圧倒されてしまうほどです。ここ6～7年は、毎年ほぼ全ての 신입職員が模擬患者役を経験し、患者さんの

## 次号予告

3年目研修医先生の長町病院での奮闘をお届けします！！

立場・気持ちを経験できるよい機会になっているのではないかと感じています。友の会会員の



方々には模擬患者用の衣類提供のご協力や外来受診患者役・デイサービス利用者役として訓練に参加していただき、避難誘導や搬送の訓練にご協力いただいています。友の会模擬患者役の方々からも、様々な意見をいただいていますので、マニュアル整備や今後の訓練運営に活かしていきたいと思います。

簡単ではありますが、今年の災害訓練の概要について書かせていただきました。来年は今年1年かけて改定したマニュアルを検証できるような訓練企画を考えています。関心のある方は、ぜひ当院へ見学にきていただき、ご意見・ご感想等いただければ幸いです。

